

令和四年度
新役員・運営委員紹介

- 新役員
顧問 山本 文男 (再任) 洋舞連盟
会長 長中谷 時男 (再任) 美術連盟
副会長 澤田 弘 (再任) 音楽協会連盟
〃 小笠原仁仙 (再任) 華道連盟
〃 杉田 英男 (再任) 絵画連盟
事務局長 三戸 良子 (再任) 音楽協会連盟
会計 宮川 恵子 (再任) 洋舞連盟
〃 北村 佳代 (再任) 音楽連盟
書記 進藤 宗樹 (再任) 茶道連盟
監事 坂東一二三 (新任) 日舞連盟
〃 白石 治 (新任) 工芸連盟
- 新運営委員
高安 利勝 絵画連盟
海老原幸作 音楽協会連盟
伊森 神繕 詩吟連盟
花柳 龍由日舞サークル連盟
草深千沙子 洋舞連盟
鳶根 春枝 歌謡&シャンソン連盟
大井 慧子 歌謡&シャンソン連盟

- 飯野 文月 華道連盟
仁科 順香 華道連盟
吉原 聚堂 書道連盟
市角 宗久 茶道連盟
宮崎 宗雅 茶道連盟
山本 恵子 演劇連盟
森 みずえ 文芸連盟
檜垣 廣政 蒐集連盟
三代川 馨 お囃子連盟
佐藤ヒロ子 文化団体連盟
金子 竹千 民謡民舞連盟

令和四年度事業計画

- 第三十八回芸術祭
四月十五・十六・十七日
会場・習志野文化ホール
・モリシアホール
・モリシア津田沼一階
*習志野市芸術文化協会通常総会
五月十六日
*市展
九月十五日〜二十五日
*習志野市芸術文化協会だより
第五十八号 九月
第五十九号発行 五年三月
*市民文化祭
十月二十二日〜十一月二十六日
会場・習志野文化ホール
・市民ホール
・サンロード六階
*習志野市民まつり参加
十月九日

*視察研修

- 十一月十七日
*歳末チャリティーバザー
十二月三日・四日
会場・モリシア津田沼一階
*第四十四回習志野第九演奏会
十二月十八日
*新年会員交流会
令和五年一月十六日

令和四年度入会団体

- ・菊田女声 (音楽協会連盟)

令和四年度退会団体

- ・琴古流尺八子幽会(邦楽連盟)
・千佳会 (新日舞連盟)
・和徳会 (新日舞連盟)
・幸仙会 (新日舞連盟)
・輝久流橘会 (新日舞連盟)
・竹扇会 (新日舞連盟)
・和翔会 (新日舞連盟)
・若千穂会 (新日舞連盟)
・清華会 (新日舞連盟)
・藤吉会 (新日舞連盟)
・草勝会 (華道連盟)
・れんげの会 (華道連盟)
・神堂流神堂会 (詩吟連盟)
・ムツテルコール (音楽協会連盟)
・津田沼女声アンサンブル (音楽協会連盟)
・菜々美会 (歌謡&シャンソン連盟)

習志野短歌会

遠き日に在りし海辺の物語風
鳴れば聞き月照れば泣く
中村ひろ子

すれ違ひぎまにレモンのかを
り来るおぼろの月と相和して
妙
石井喜久江

うつうつと過ぎてしまへり祝
日の一日もなき水無月の日々
石井由美子

橋をわたり村人はお堂をひら
きたり忍阪おんさかの小さき寺の扉を
藤野 宏子

早寝して丑三つ時に目覚めれ
ば高笑ひして物の怪がゆく
石井 雅子

朝刊のコラムはヘレイブと言
う「兵器」〜芍薬白く薫る五
月に
吉村 咲子

昼食を作る気もなくインスタ
ント女は黙って札幌ラーメン
山田 澤子

何げなき言葉に傷つくことも
ある「割れ物注意」と背中に
貼らむ
森 みずえ

事務局だより

幾度となくコロナ感染の波
が襲い、落ち着かない世の中
はありますが、今年はいよいよ
コロナで事業を出来る限り進
めていきたいと春の芸術祭、総
会を無事行い、これからは秋の
市展、市民文化祭に向かいます。
特に、来春三月までの使用
となる現習志野文化ホールで
の舞台・ホワイエでの催し物に
力が入ります。ホールへのこれ
までの感謝の想いも込めて記
憶に残る華やかで活気ある市
民文化祭になりますよう願っ
ております。

(三戸 良子)

編集後記

「踵を着けて 背中を伸ばし腕
は後ろに大きく振って」と適
当に節をつけて口遊みながら干
潟を歩いています。

コロナ禍で遠出できなくな
った人たちが、近隣で何とかし
ようとこの頃目を付けたのが谷
津干潟。休日には若い家族連れ
から年配の方までそれぞれの楽
しみ方で賑わうようになりました。

地元の活性化と喜んでいいの
か・・・収まりかけた感染が
また広がっているようで安心
できません。
(森 みずえ)

習志野市芸術文化協会事務所
〒275-0026
習志野市谷津一 161-1
習志野文化ホール内
☎&FAX 〇四七(四七五)六八二一